

TANITA タニタ

東京都立国際高等学校

2022年11月20日(日)、東京都立国際高等学校の生徒5名が企業SDGs研修に参加しました。研修先は「タニタ」。タニタが主体となって推進する「ご当地タニタごはんコンテスト」を視察し、一般審査員も担当。タニタが取り組む「健康」、「食」、「SDGs」について学びました。



東京都立国際高等学校のみなさん
コンテストの一般審査員も担当しました！

『第5回ご当地タニタごはんコンテスト』～ヘルシー郷土料理で健康まちおこし～

ご当地
**タニタごはん
コンテスト**
ヘルシー郷土料理で健康まちおこし

2022年に5回目を迎えた「ご当地タニタごはんコンテスト」。全国の郷土料理を「タニタが考える健康的な食事の目安」に基づき現代風にアレンジ。安全・安心かつ健康的な「食」のソリューションとして再生します。目的は郷土料理の継承とともに、新しい地域の特産品として広く認知・普及させ、地域の活性化に結び付けること。今回は、時世を反映し「免疫力と抵抗力」のある食材をバランスよく配することを課題として盛り込みました。

コンセプト ① 郷土料理の継承 ② 人材育成 ③ 地域活性化



全国から84チームが応募!

『第5回ご当地タニタごはんコンテスト』表彰(料理抜粋)

👑 **グランプリ**

岡山



黄ニラ香る贅沢おかやまばら寿司等

👑 **準グランプリ**

兵庫



東経135° 瀬戸内海パエリア等

👑 **準グランプリ**

鹿児島



黒豚とんこつ彩野菜添え等

👑 **第5回特別賞**

北海道



どさんこ満足御膳

タニタ × 高校生企業SDGs研修 (東京都立国際高等学校)



SDGs研修の様子

企業研修 (SDGs趣旨説明)

「ご当地タニタごはんコンテスト」の目的は、郷土料理の継承。まさにSDGsです。郷土の風土、歴史、伝統、地場産業に支えられ、地域独特の料理を楽しめます。また今年は、「健康」に加え「免疫力と抵抗力」もテーマにしました。参加チームの中には、「食品ロス」対策を掲げる方もいます。高校生のみなさんも、未来につながる郷土料理をぜひ地元の方々と一緒に考えてください。



講師) タニタ 猪野正浩さん

SDGs研修に参加して(高校生の感想)

沓澤 空来 さん

SDGs研修では、2000年にMDGsという目標が定められ、そこでの目標は2015年のSDGsにも引き継がれている、つまり、15年間で目標は達成されなかったということを知りました。驚きと2030年までのSDGsの達成に危機感を感じました。大会では、日本の郷土料理は地域の土地や気候、歴史や食べる人の健康など、様々な事が考え尽くされたものだと感じ、より多くの人にこの事を知ってもらいたいと思いました。



千田 佳怜 さん

私がSDGs研修を通して学んだことは主に2つあります。1つ目は、SDGsの17個のゴールは互いに繋がっていることです。繋がっているからこそSDGsの達成は容易ではないと思いますが、達成すれば、他のゴールにも良い影響が与えられるということでもありました。2つ目にMDGsの存在です。自分がまだまだSDGsの背景を知らないことに気が付くことができたと同時に、もっと学ばなければいけないという風に感じました。企業の方からお話を聞くという貴重な経験が出来て他にも多くのことを学びました。ありがとうございました。



大工原 舞香 さん

形を変えつつも日本の古き良き伝統を現代に引き継いでいる、郷土料理はとても魅力的だと感じました。地産地消や食材を余す事なく使うといった昔の人々の知恵や工夫には、フードロスの様な現代の問題解決のヒントが潜んでいると思いました。また、栄養バランスが良くヘルシーな日本食は健康と福祉に繋がるなど、私たちの日々の生活とSDGsを結びつけて考えていきたいです。



前田 幸芽 さん

高校に入って、日ごろからSDGsと関わる機会は増えたのですが、今回は実際に体験できたという意味でいつもとは違うような面白さを感じることができました。日本全国のたくさんの郷土料理を楽しめたと同時に各地域の様々な文化を学ぶことができとてもいい経験になりました。今回の経験を生かせるように、これからの活動も頑張っていきたいです。ありがとうございました。



藤野 日葵 さん

どの参加者の皆さんも自分が生まれ育った地をどれほど大切にしているかということがよく伝わってきました。今食が洋風化されてきて伝統料理が食卓に並ぶことも少なくなってきましたが、昔からの味を未来の世代へつなげていくことと同時に伝統料理から新たに新しい味が生まれる良さがあると思います。これもまた持続可能な社会を築き上げる一つの貢献だと思います。



タニタは、ユースの環境活動を応援しています。